

平成26年度6月補正予算案

主要事項説明資料

府民生活部

主要事項説明資料目次

府民生活部

ページ	事業名	担当課(室)
府民生活 1	仕事と介護の両立支援事業費	男女共同参画課
2	青少年海洋センター魅力向上検討費	青少年課
3	「公共員」配置推進費	府民力推進課 農村振興課
4	「プロボノ」を活かした地域力応援事業費	府民力推進課
5	地域力再生活動応援事業費	府民力推進課
6	災害からの安全な京都づくり条例(仮称)検討費	防災・原子力安全課
7	消費者行政活性化基金積立金	消費生活 安全センター
8	特殊詐欺等被害撲滅緊急対策事業費	消費生活 安全センター

平成26年度6月補正予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	仕事と介護の両立支援事業費								
予算額	2,000千円	新規・継続の別	新規						
事業内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 趣旨・目的</p> <p>仕事と介護の両立を図るため、「企業応援チーム」（仮称）を京都ワーク・ライフ・バランスセンターに設置し、企業・社員やケアマネジャーに向けた出張相談・研修を実施</p> <p>2 内 容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">企業への出張相談・研修</td> <td>企業を訪問し、介護との両立を含めた相談を実施するとともに、社員向けに両立支援制度や介護への対応方法等の研修を実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ケアマネジャー向け両立支援制度研修</td> <td>ケアマネジャーを対象に、両立支援制度の理解を深める研修を実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">両立支援制度の普及啓発</td> <td>働く介護者視点の両立啓発冊子を作成し、仕事と介護の両立に向けた情報を提供</td> </tr> </table>			企業への出張相談・研修	企業を訪問し、介護との両立を含めた相談を実施するとともに、社員向けに両立支援制度や介護への対応方法等の研修を実施	ケアマネジャー向け両立支援制度研修	ケアマネジャーを対象に、両立支援制度の理解を深める研修を実施	両立支援制度の普及啓発	働く介護者視点の両立啓発冊子を作成し、仕事と介護の両立に向けた情報を提供
企業への出張相談・研修	企業を訪問し、介護との両立を含めた相談を実施するとともに、社員向けに両立支援制度や介護への対応方法等の研修を実施								
ケアマネジャー向け両立支援制度研修	ケアマネジャーを対象に、両立支援制度の理解を深める研修を実施								
両立支援制度の普及啓発	働く介護者視点の両立啓発冊子を作成し、仕事と介護の両立に向けた情報を提供								
担当課・担当名	男女共同参画課 ワーク・ライフ・バランス推進担当	課・担当電話番号	075-692-3473						

平成26年度6月補正予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	青少年海洋センター魅力向上検討費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 趣旨・目的</p> <p>府立青少年海洋センター（マリーンピア）の、青少年海洋研修施設としての魅力向上に向けた検討を実施</p> <p>2 内 容</p> <p>施設の魅力向上・利用促進を図るための方策について、専門家を交えて検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 学識経験者、青少年関係団体、地元関係者等による検討会議を開催 ▶ 専門的な見地からの利用者ニーズ調査、分析 ▶ 施設の魅力向上・利用促進に向けた方策や施設改修の方向性を検討 		
担当課・担当名	青少年課 企画・育成担当	課・担当電話番号	075-414-4301

平成26年度6月補正予算案主要事項説明

府民生活部
農林水産部

事業費	「公共員」配置推進費		
予算額	21,600千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 地域に居住し、地域課題解決のための公共的役割を担う「公共員」を配置</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実施手法：府が公募の上、直接雇用（非常勤嘱託）し、現地に配置 ○ 配置期間：3年から5年程度を想定 		
		里の公共員	まちの公共員
	目 的	地域に居住し、じっくりと長期的に地域の維持・発展をサポートする地域外の人材を配置し、京都農村再生運動を推進	特定の地域課題に対し、地域に定着して多様な主体との協働関係をつくり、社会システムとしての解決策の創出と推進をマネジメント
	想定人物像	地域住民とともに長期的に地域づくり活動を実践する人材	地域づくり活動の実践者やまちづくりコンサルタント経験者等
業 務 内 容 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ニーズの把握 ・ 行政等との調整、地域 ・ 地域・仕事おこし活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップの開催 ・ 目標・行動計画・グループづくりのための委員会の開催 ・ 地域の人材、資源等を組み合わせた協働事業の実施 	
担当課名	府民力推進課 地域力再生担当 農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4452 075-414-4906

平成26年度6月補正予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	「プロボノ」を活かした地域力応援事業費		
予算額	5,100千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣旨・目的</p> <p>複雑化・高度化する地域課題に対して、地域力再生活動団体の解決能力の向上を図るため、高度な専門知識や能力を有する専門家をプロボノ※として地域力再生活動団体に派遣し、課題解決に向けた指導や支援を展開</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) プロボノ人材登録・派遣制度の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ プロボノ人材の掘り起こし及びバンク登録 ▶ 登録人材と支援が必要な地域力再生活動団体とのマッチング ▶ 課題解決のためのプロボノ派遣（3回まで） <p>（プロボノ派遣の例）</p> <p>空き屋活用を検討している地域団体に対して一級建築士やデザイナーをプロボノとして派遣し、魅力ある再生プランの策定を伴走的に支援</p> <p>(2) プロボノ活動立ち上げ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域力再生活動団体と接した経験がないプロボノ人材が円滑に活動開始できるよう、プロボノ人材や受入団体を対象に事前講習会や相談を実施 <p>〔 ※プロボノ：ラテン語の「公共善のために(Pro Bono Publico)」に由来する言葉で、公共的な目的のために職業上のスキルや経験を活かした社会貢献活動又は活動する人を意味する 〕</p>		
担当課・担当名	府民力推進課 地域力再生担当	課・担当電話番号	075-414-4452

平成26年度6月補正予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	地域力再生活動応援事業費		
予算額	3,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容	<p>1 趣旨・目的</p> <p>多様な分野の複数団体が連携して行う、地域住民が寄附しやすい仕組みづくりを支援し、地域力再生活動団体の活動資金確保手段の多様化を図る</p>		
<p>（ 目 的 対 象 方法等 ）</p>	<p>2 内 容</p> <p>地域力再生活動団体及び他セクターで構成される協議体による寄附メニューづくり（寄附者への商品・サービス券（バウチャー）付き寄附等の考案）を支援</p>		
	<p>(1) 補助対象者 5団体以上（地域力再生活動団体及び大学、企業等）で構成される協議体</p>		
	<p>(2) 補助率・上限額 補助率：2/3 補助上限額：600千円以内</p>		
<p>(3) 補助対象経費 講師（先進事例紹介・商品開発等）の謝礼・旅費、会場料、パネル・ブース設置経費、パッケージデザイン料、印刷経費 等</p>			
担当課・担当名	府民力推進課 協働推進担当	課・担当電話番号	075-414-4210

平成26年度6月補正予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	災害からの安全な京都づくり条例(仮称)検討費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣旨・目的 災害からの安全な京都づくりのための条例策定に向けた検討を実施</p> <p>2 内 容 有識者等の参画を得て、「災害からの安全な京都づくり条例検討委員会（仮称）」を設置し、条例の早期策定に向けた検討を実施</p>		
担当課・担当名	防災・原子力安全課 計画担当	課・担当電話番号	075-414-4475

平成26年度6月補正予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	消費者行政活性化基金積立金		
予算額	7,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 趣旨・目的 府民の安心・安全な消費生活を実現するため、基金の積み増しを実施</p> <p>2 基金活用事業の概要 警察や地域、生協等協力機関と連携・協力し、きめ細かい啓発や見守り活動を展開</p>		
担当課 ・ 担当名	消費生活安全センター 企画・啓発担当	課・担当 電話番号	075-671-0030

平成26年度6月補正予算案主要事項説明

府民生活部

事業名	特殊詐欺等被害撲滅緊急対策事業費						
予算額	7,000千円	新規・継続の別	新規				
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣旨・目的 被害額が過去最悪となった特殊詐欺被害等から高齢者を守るため、警察や地域の協力機関と連携・協力し、きめ細かい啓発や見守り活動を展開</p> <p>2 内 容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">二次被害防止のための取組強化</td> <td> <p>① 高齢者向け重点キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府警本部長緊急メッセージの再発信 ・ 弁護士、消費生活相談員による特別相談会 ・ 寄席、寸劇などによる悪質商法講座等 <p>② 地域での見守り活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食料品等個人宅配利用者3万人程度に対して声かけ ・ 宅配トラックに注意喚起マグネット貼付 ・ 店舗、施設、診療所等への高齢者見守りの協力依頼 等 </td> </tr> <tr> <td>広域・集中啓発</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道、路線バスの駅や車内に注意喚起ポスター掲出 ・ ケーブルテレビ等による注意喚起 </td> </tr> </table>			二次被害防止のための取組強化	<p>① 高齢者向け重点キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府警本部長緊急メッセージの再発信 ・ 弁護士、消費生活相談員による特別相談会 ・ 寄席、寸劇などによる悪質商法講座等 <p>② 地域での見守り活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食料品等個人宅配利用者3万人程度に対して声かけ ・ 宅配トラックに注意喚起マグネット貼付 ・ 店舗、施設、診療所等への高齢者見守りの協力依頼 等 	広域・集中啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道、路線バスの駅や車内に注意喚起ポスター掲出 ・ ケーブルテレビ等による注意喚起
二次被害防止のための取組強化	<p>① 高齢者向け重点キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府警本部長緊急メッセージの再発信 ・ 弁護士、消費生活相談員による特別相談会 ・ 寄席、寸劇などによる悪質商法講座等 <p>② 地域での見守り活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食料品等個人宅配利用者3万人程度に対して声かけ ・ 宅配トラックに注意喚起マグネット貼付 ・ 店舗、施設、診療所等への高齢者見守りの協力依頼 等 						
広域・集中啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道、路線バスの駅や車内に注意喚起ポスター掲出 ・ ケーブルテレビ等による注意喚起 						
担当課 ・ 担当名	消費生活安全センター 企画・啓発担当	課・担当 電話番号	075-671-0030				